

M. T. 英語英文学科・3年次

I. 留学レポート

① 協定留学を目指した理由

大学入学前から留学したいと考えていました。高校生の際に 1 か月アメリカの海外研修に参加したのがきっかけです。外国人と話すことや海外旅行をするのが好きで、いつか海外で生活してみたいと思っていました。大学生になり、アルバイト先など、生活の中で英語を使う機会が増え、更に行きたい気持ちが強くなりました。休学して自分の行きたいところを自分で探すことも考えましたが、4年で卒業したいと思い協定留学を選びました。

② 留学を目指してから出願までの英語学習方法

留学するには IELTS のスコアが必要だったので、まずは受験することを考えました。ダイアログ 1800 など、普段の授業のテスト勉強に力を入れました。また、スーパー英語や ALC を進んでやっていました。1 か月前くらいから参考書を 1 冊買って繰り返し問題を解いていました。IELTS は面接もあったので、友達に面接の練習に付き合ってもらったりしました。

③ 留学決定から出発までの準備期間

私は半年間の留学だったので、ビザの申請は必要ありませんでした。ビザが無いので半年後にカナダから出国する証明が必要でした。だから、行きの航空券を取ると同時に帰りのものも用意して留学に行きました。11月に留学が決定してから、色々な書類の提出に追われていたので特別な勉強はしていませんでしたが、普段の授業、特にネイティブの先生の授業でいかに集中力を切らさずに聞き続けられるか、に注意して授業を受けていました。リーディングは洋書を読んで多読に慣れさせました。現地はとても寒いことが分かっていたので、冬服や防寒具を買いこみました。あと、カイロもたくさん買いました。貼るカイロは使いましたが、貼らないタイプのはあまり使わなかったです。出発まではバイトをしたり、友達と遊びながら過ごしました。パッキングは1週間ほど前には大半を終わらせていました。服はすべて圧縮袋に詰めて用意しました。2週間ほど前にホストファミリーが分かったので連絡を取って現地の情報を教えてもらっていました。夏服は現地で買うことも想像していたので最低限しか持っていきませんでした。

④ 現地到着後

ホストマザーが空港まで迎えに来てくれたので、ウィニペグ空港から直接家まで連れて帰ってもらいました。私は一日余裕を持って到着したので次の日は大学に連れて行ってほしい、バス停の場所やバスの乗り方を教えてもらいました。オリエンテーションの日、パスポートを持って行ってマニトバ大学の学生証を作りました。その日からプログラムを始める人全員で授業やイベントについての説明を受けました。そのあと、オリエンテーションリーダーに学校内を案内してもらったのですが、かなり広く感じた気がします。それから、

1 か月のバス定期を買いに行きました。次の日に教科書を受け取るため、初日は特に大荷物にはなりませんでしたが。携帯電話は、特に解約せず飛行機モードに設定してきました。ウイニペグでポケット wi-fi をレンタルしようと思いましたが借りられるところはかなり少なく、買った上で月額契約する方法しかなかったので諦めました。

⑤ 語学研修期間

◆ 語学研修先の施設・環境について

◆ 授業内容、課題、試験

マニトバ大学内にある語学学校、IEP で学んでいました。なので、特に語学学校専用の施設はありませんでした。レベル 200 から 700 まであり、私は 700 クラスに所属していました。クラスによって行われている授業が違い、700 にはリーディング&ライティング、イディオム、リスニングがありました。リーディング&リスニングは毎日あり、教科書の朗読や、載っている問題について考えるものでした。課題も毎日出ました。イディオムの授業は週 2 日あり、それまで聞いたことのなかったことわざを学んでいました。テストは1か月に 3 回ほどありました。リスニングも同様に小テストを受けました。先生が読んだ文章の情報をメモするものもありました。少人数のクラスなのでどの先生もフレンドリーに接してくれるし、クラスメイトとディスカッションする時間も多いため仲良くなれると思います。火曜、木曜、金曜はクラスが昼までなので外にご飯を食べに行くこともできます。600 までのクラスはファイナルテストがありますが、700 のクラスはなかったので一日長期休暇が伸びました。

⑥ 正規科目履修期間

◆ 大学の施設・環境について

大学はどこでも wi-fi が通っているのでインターネットに困ることはありませんでした。学校内にはスターバックス、ティムホートンが 2 つずつあり、その他にもいろんなお店がセンターに入っているため食事に困ることはあまり無いと思います。体を動かしたいときは、ジムを契約するといつでも使えます。平日は朝早くから夜遅くまでやっているため空いた時間に利用できます。図書館も広いし、教室も沢山あるので勉強する場所は沢山あります。天気の良い日は外のベンチで教科書を読むなどして自習していました。

◆ 履修科目

現地のアドバイザーから説明を受けます。私たちは 1000 番台か 2000 番台から選択するように言われました。REQUIRED と書かれた科目は取れません。ネットから自分の取りたい科目を見つけ、マニトバ大学と同志社女子大学にシラバスを添えて送信し、チェックしてもらいます。夏は 1 か月内で月曜日から金曜日まで毎日授業がありました。夏学期に私が取った授業を紹介します。

• **Introduction to Leisure Travel**

旅行についての授業で、“ツアリズム”とは何か、から教えてもらいました。日本とは違った世界の、特にカナダやアメリカの旅行形態などについて詳しく知ることが出来ます。チップについての考え方などディスカッションできてとても面白かったです。

• **Business Communications**

ビジネスでのマナーを学びました。基本的には文章を構成するときのポイント、いい結果の報告の時の文章と謝罪の文章の書き方の違いを学びました。また、ある企業の企業研究をしました。

• **Fundamentals of Marketing**

マーケティングの基礎について学びました。消費者行動や環境がマーケティングとどう関係するか、いつもの消費者の視点からではなく企業の視点から考えるのでとても興味深かったです。

◆ **授業、レポート、定期試験**

• **Introduction to Leisure Travel**

1000 番台の授業でした。大人数の教室で基本的には先生が教科書の内容を説明するだけでした。時々先生が学生に問いかけ、ディスカッションをすることもありました。1 か月の授業で 3 回テストがありました。いずれもマークシートを使った選択肢式のものど記述が両方ありました。

• **Business Communications**

この授業は 2000 番で、クラス内ディスカッションだけでなく、個人のレポート提出が数回、グループレポートとグループプレゼンテーションが 1 回ずつありました。1 グループ 7 人でした。ファイナルテストはすべて記述でした。

• **Fundamentals of Marketing**

2000 番台の授業で、クラス内で教授とディスカッションする機会が多かったです。3 人グループで 1 時間のプレゼンテーションをしました。また、ある地域の再生復興の企画のレポートも書きました。ミッドタームは選択肢だけでしたが、ファイナルは記述もありました。そんなに問題数は多くなかったですが、その分記述量が多かったです。

⑦ **クラブ、課外活動、ボランティア活動**

特にクラブには入りませんでした。ランゲージエクスチェンジというサークルのようなものには通っていましたが、日本語を学びたい外国人と、英語を学びたい日本人が交流する場所で、そこでいろんな国籍の友達が出来ました。ウィニペグの情報や通常授業の情報や私が知らなかった日本のことなど、色んなことを教えてもらいました。

ホストマザーが教会で子供のお世話をするボランティアをされており、一緒にさせてもらいました。他にも、個人的にマラソンのボランティアに申し込みました。朝早くからで少

し大変ではありましたが楽しかったです。

⑧ 現地での住まい (語学研修期間、正規科目履修期間) について

最初の 2 か月はホームステイと決まっていたので、そのまま最初はホームステイしていました。ホストマザーと 2 人きりで、あとは犬 2 匹を飼っているだけだったので、普段はマザーの手料理を 2 人で食べ、マザーが出かける時は作り置きを食べていました。昼食は毎晩自分でサンドイッチを作っていました。幸いなことに私は家から乗り換えなしで帰ることが出来たので、通学時間は 20 分ほどでした。バス停から家まで歩くのが少し遠かったです。1 か月経ったところに寮の相談をしに行きました。悩みましたが新しい場所に行ってみたかったので寮に行くことを決めました。ですが、寮に入れるのか、寮が 2 つあるのですがどちらの寮になるかギリギリになるまでわかりませんでした。

⑨ 長期休暇の過ごし方

長期休暇は約 1 週間あったので、色々な場所に旅行しました。国内ではケベックとトロント、アメリカにも行きました。カナダは留学する機会がないとなかなか行く機会がない場所だと思うので行けて本当に良かったです。当たり前ですが、日本から行くよりも安いし早いので行きやすいし、本当に楽しかったです。すべて自分たちで予定を組んで予約するのは少し大変でしたが、そこでも英語力が鍛えられるし、すべて良い経験だと思います。

⑩ 留学期間中の就職活動の取り組み

まずはリクナビやマイナビに登録することから始めました。そこから自分の興味が持てそうな企業を探していました。エントリーシートの書き方やその他分からないことは少しずつ調べたり、先輩や友達に聞いたりしていました。企業研究といってもやはりネットに頼るのも少し限界を感じましたし、周りがインターンシップに行きだしたときは少し焦りました。

II. 留学の感想

① 留学中で楽しかったこと、最も思い出に残っていること

留学中で楽しかったことはたくさんありますが、友達とご飯を食べに行ったりスポーツ観戦したり散歩したり、毎日友達と過ごしたことが楽しかったです。旅行にもたくさん行きました。ケベックシティやトロントなど、カナダに留学しなければ行かなかったような土地にも行けたことも良い思い出です。私は自宅でペットを飼ったことがなかったのですが、ホストファミリーの家にポメラニアンが 2 匹いて、その子達と暮らすのも新鮮でとても楽しかったです。散歩に連れて行ってあげたり公園で遊んだり、たくさん思い出が作れました。

② 留学中でつらかったこと、最も苦労したこと

通常授業を受けている時に感じたことですが、担当の先生の訛りがきつく、最初の方は、

授業についていくのがしんどかったです。段々耳が慣れて最終的には聞き取れるようになったのですが、インドの訛りや中国の訛りはやはり聞き取りにくかったです。それに加え、グループディスカッションの時、自分の言いたいことが言えない辛さがありました。また分かっていたことですが、ご飯がまったく違うのでそれも少し辛かったです。慣れるまでに時間がかかりました。

Ⅲ. 留学希望者へのアドバイス

① 留学先大学の良かった点、悪かった点

都会ではなかったですが、自然がたくさんある環境にいられることは日本にいとあまりないことだと思うので、ウィニペグにして良かったと思います。校内も広く、娯楽もあるのであまり困りません。マニトバ大学にして良かったと思っています。悪かった点は、逆に大学が広すぎて移動に時間がかかることです。

② 日本から持って行って、特に役に立ったもの

パソコンは語学学校的时候はそこまで必要ではなかったですが、通常授業でレポートを書く際など、やはり必要でした。学校にもありますが、いつでも使えるわけではないのでパソコンは必要だと思います。また、冬にカイロは必要だと思います。スパやプールがあるので、水着もあると便利だと思います。洗濯機、乾燥機に入れるとやはりごわごわになってしまうので、気になる人は柔軟剤が必要だと思います。良い香りで気分も落ち着くし、個人的にかなり役立ちました。実用的なものとは別に、色紙やアルバム、手紙などもしんどくなったときの力になると思います。

③ 語学力の向上等、留学の成果、留学前と後で変わったこと

帰国してからテレビや映画を見ていてリスニング力の向上を感じます。そして嫌いだったリーディングも厭わずに読めるようになったのは意識の改善だと思います。また、ほかの国の人に対する意識も深まりました。

④ これから留学をしようと思っている後輩へのアドバイス

行くか行かないかで迷っている人も多いと思いますが、私はチャンスが与えられているなら行くべきだと思います。もちろん楽しいことだけじゃないし、いろんな問題にぶつかり、しんどいこともありました。けれど、後から考えると案外小さいことだったり、後から話して笑えることだったりします。いろんな国の人と接することで自分の考えが変わることもあります。不安なこともたくさんあるとは思いますが、とりあえず挑戦してみる事が大切だと思います。

Ⅳ. 将来の目標

① 今後の進路、将来の目標・夢

将来はこの経験を生かし、世界の人々とつながって仕事をしていきたいです。留学を自分の強みにしてこれから生活していきたいです。英語をもっと極めることもそうですが、もっといろいろなことにチャレンジしてパワーアップしていきたいです。

V. 写真



左がホストマザーです。ホストマザーの姉妹の家にイースターのディナーに招いてもらいました。



カナダデーを祝いました。